

新青丸 研究航海報告

- * 航海番号 KS—20-11次研究航海
- * 航海名称 (和文) 新型グライダー・高精度乱流計を用いた高水温消散率海域出現メカニズムの解明
(英文) Mechanism of high thermal dissipation with gliders and microstructure instruments
- * 観測海域 (和文) 北海道南方親潮水域
(英文) Oyashio south of Hokkaido
- * 航海期間 令和2年8月4日(火)～令和2年8月13日(木)
- * 出港日時・場所 8月4日14時横須賀港
- * 入港日時・場所 8月13日10時釧路港
- * 寄港期間・場所
- * 研究課題
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎は@)
- * 研究内容, 主調査者(e-mailアドレス), 観測項目
 1. 親潮海域・拡散型二重拡散による鉛直混合の定量化研究 安田(ichiro@aori)
 2. 親潮海域・等密度面水平拡散の定量化に関する研究 安田(ichiro@aori)
 3. 水中グライダー搭載 ADCP による海流観測手法開発 田中 (takahiro@affrc.go.jp)
 4. 乱流計搭載フロートによる深海混合計測手法開発 山木 (yamaki@tsk.jp)
 5. 高精度超深海乱流計による二重拡散・乱流観測手法開発 藤尾(fujio@aori)
 6. 高速電気伝導計による混合観測手法の開発 安田(ichiro@aori)
 7. フランジ型高速水温プローブの検定手法の開発 安田(ichiro@aori)
 8. 大気・海洋間乱流フラックスの観測研究 近藤(fkondo@jega.ac.jp)
 9. 酸素・塩分検定 柳本 (daigo@aori.u-tokyo.ac.jp)
 10. ドリフタ試験・表層連続観測 伊藤 (itoh@aori)

* 乗船研究者氏名・所属・職名

氏名	所属	役職名
安田 一郎	東京大学 大気海洋研究所	教授
藤尾 伸三	東京大学 大気海洋研究所	准教授
伊藤 幸彦	東京大学 大気海洋研究所	准教授
柳本 大吾	東京大学 大気海洋研究所	助教
松村 義正	東京大学 大気海洋研究所	助教
濱本 真沙希	東京大学 大気海洋研究所	大学院生
張 愛琦	東京大学 大気海洋研究所	大学院生
佐々木 雄亮	東京大学 大気海洋研究所	大学院生
大藪 良祐	東京大学 大気海洋研究所	大学院生
新沼 拓	東京大学 大気海洋研究所	大学院生
孫 統鈞	東京大学 大気海洋研究所	大学院生
田中 雄大	水産研究・教育機構 東北区水産研究所	研究員
山木 謙	鶴見精機	電気設計課職員
近藤 文義	海上保安大学校	准教授
豊田 進介	マリン・ワーク・ジャパン 海洋地球科学部	観測技術員

* 航跡・測点図

